



和漢名蓮花

三卷





和漢名畫苑三卷目錄

雪舟家之部



雪舟等楊筆

渡唐天神  
山水  
韻音

門人宗淵筆

山水  
びん

雲谷等禪筆

梅  
山水

雲谷等碩筆

朝月師  
五仙人

雲谷等薩筆

達磨  
挑雀

雲谷等汀筆

志守  
きく

雲谷等梅筆

山水  
かぞ

雲谷等藝筆

志守  
かぞ

雲谷雪林筆

梅鶯

雲谷等傳筆

かぞ

雲谷等悦筆

龍  
菊つゝあ  
あら

雲谷等与筆

あら  
あは

雲谷等益筆

あま  
に

雲谷等尔筆

あま  
に



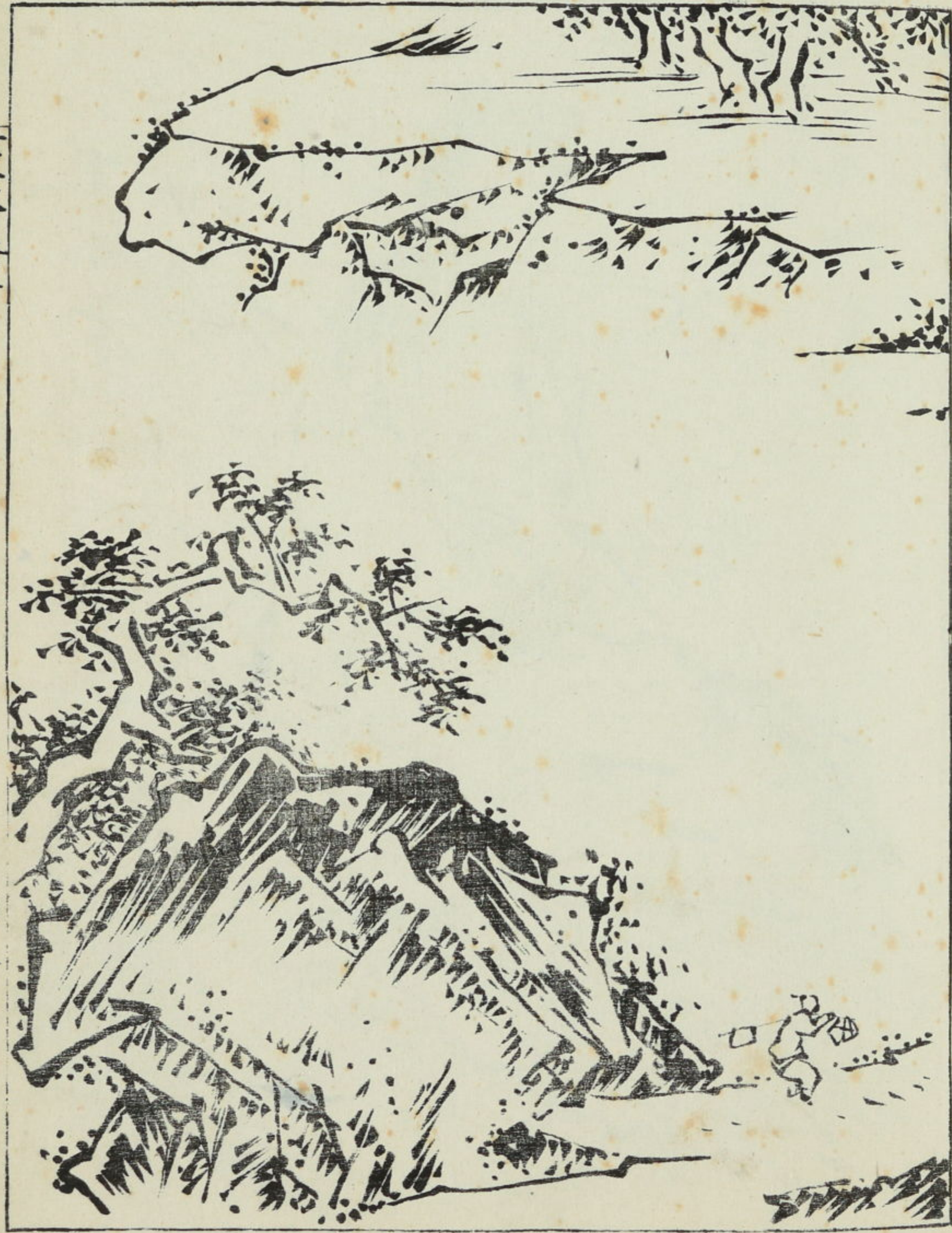


雪舟等楊筆

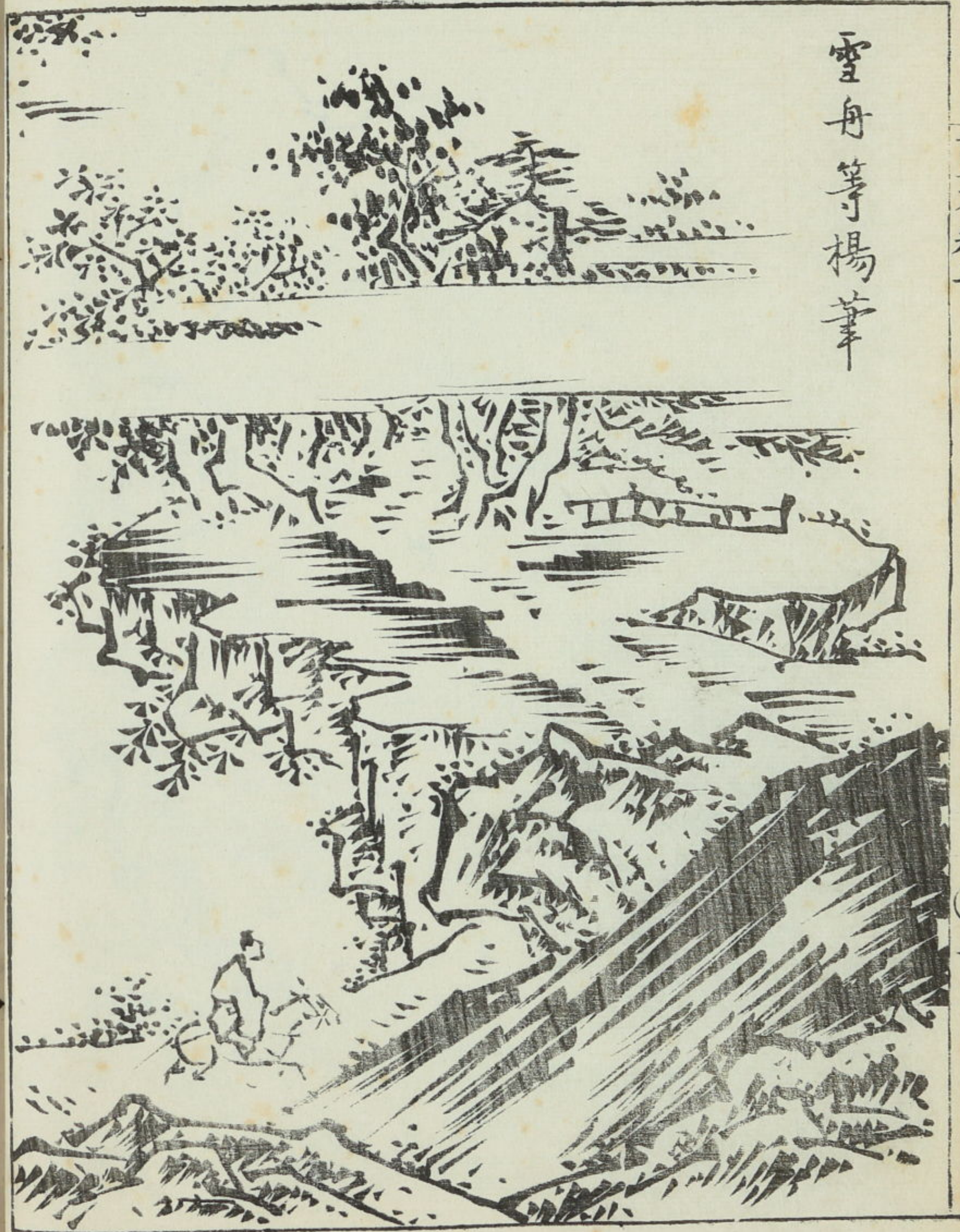


四明天童第一座雪舟等楊圖





雪舟等楊筆







宗  
淵  
筆

三才  
卷三

四



雪  
舟  
筆

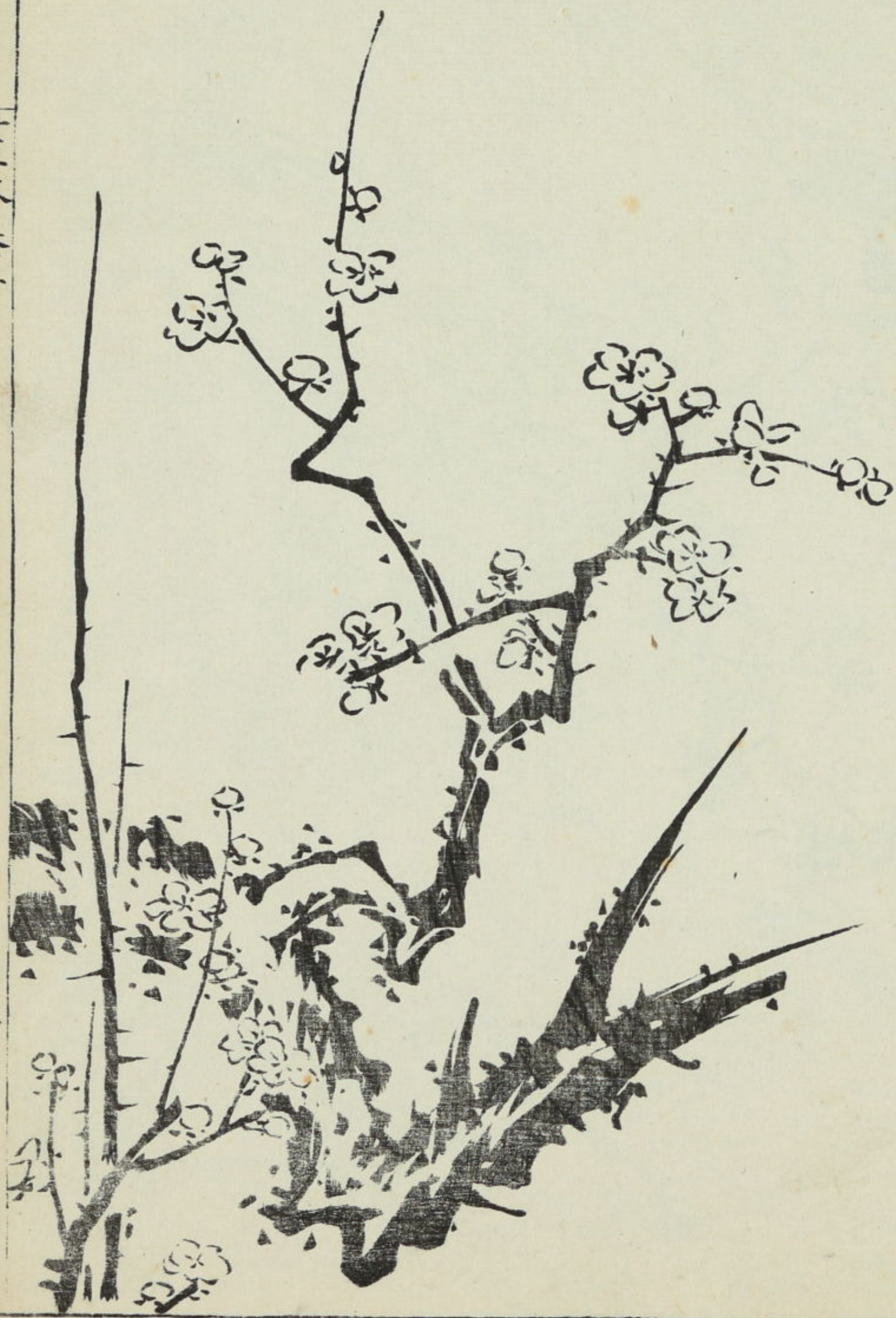
三才  
卷三



宗湖筆



聖谷等禪筆







朝月師

雲谷等碩筆

山水畫譜

卷三



雲谷等禪筆

山水畫譜

卷三



等碩筆

鄭全福

鄭全福の字深の人なり  
乃時新安の諸靈洞小入て修練せり  
其後蓮華洞に居て一人は老翁あり



是小船を信りて流るる溪小何と云



梅福

梅福字子真壽春人なり漢小姑小  
 姑習此尉之妻なり遂に仙術を授け  
 雁蕩菊園乃請止小わそぶ



後仙術を授け小姑に同仙術を授け  
 去々僊なるなり後却て小姑に  
 飛ひさる



上元夫人

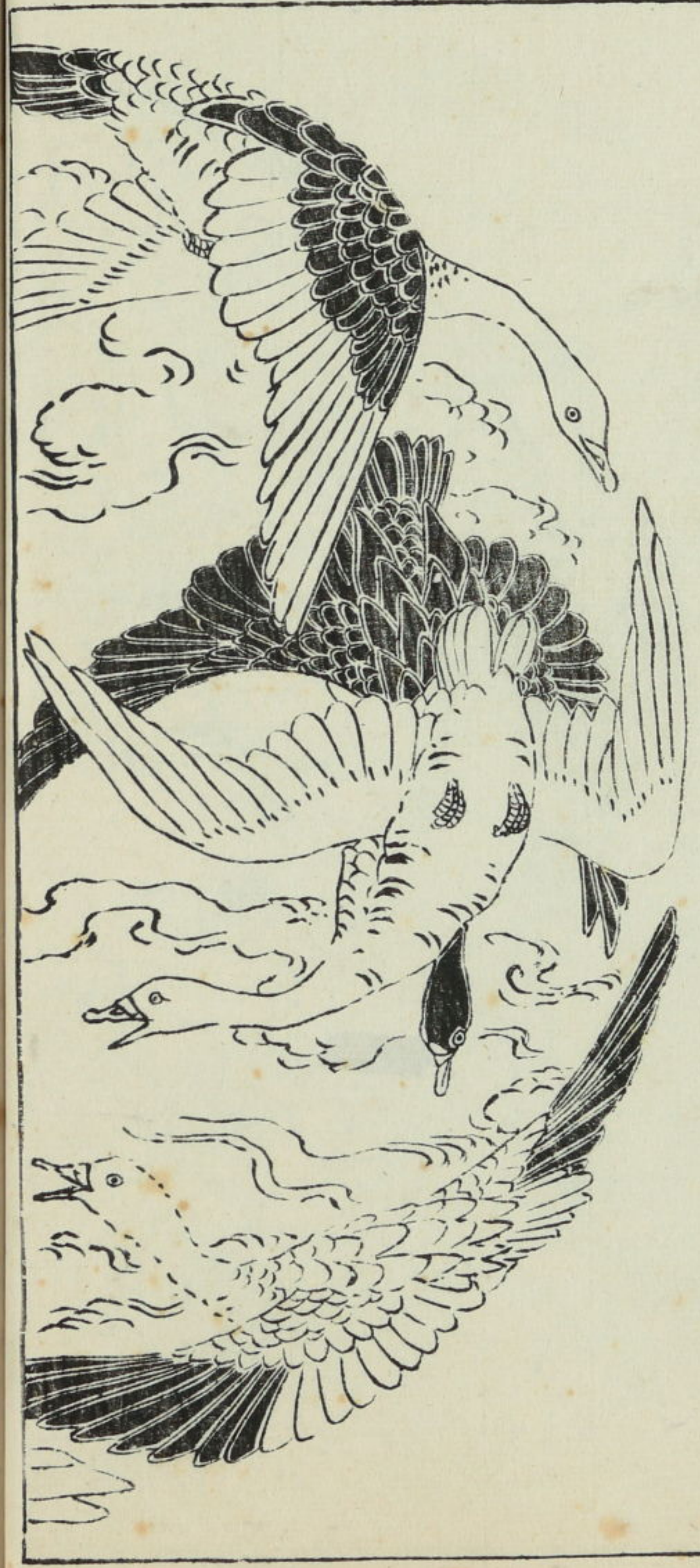


上元夫人、漢の武帝、此時、射、  
 七月七日、小、  
 是、  
 母、  
 以、



劉女

劉女、江州の劉安よかむとあやかり  
 一、（註） 雁に九老小して羽人  
 と色を淡し、浮皮をたらし、小心の  
 白鷺有り、空よりくまに、劉女は、  
 空を



飛い去れ、  
 詩小

白鷺乘去人何在  
 青鳥飛來信已遙



昔城  
 昔城、天皇の御孫なり。西夷の争を以て、  
 そのかしらをして、鼻より、耳を以て、  
 一日、衆小おれ、多あり、衆、  
 小い、衆人を、おろし、せり、  
 早き、と、なふ、  
 たり



昔城、安ら、  
 又、賈人、胡、  
 遠、  
 星、  
 流、



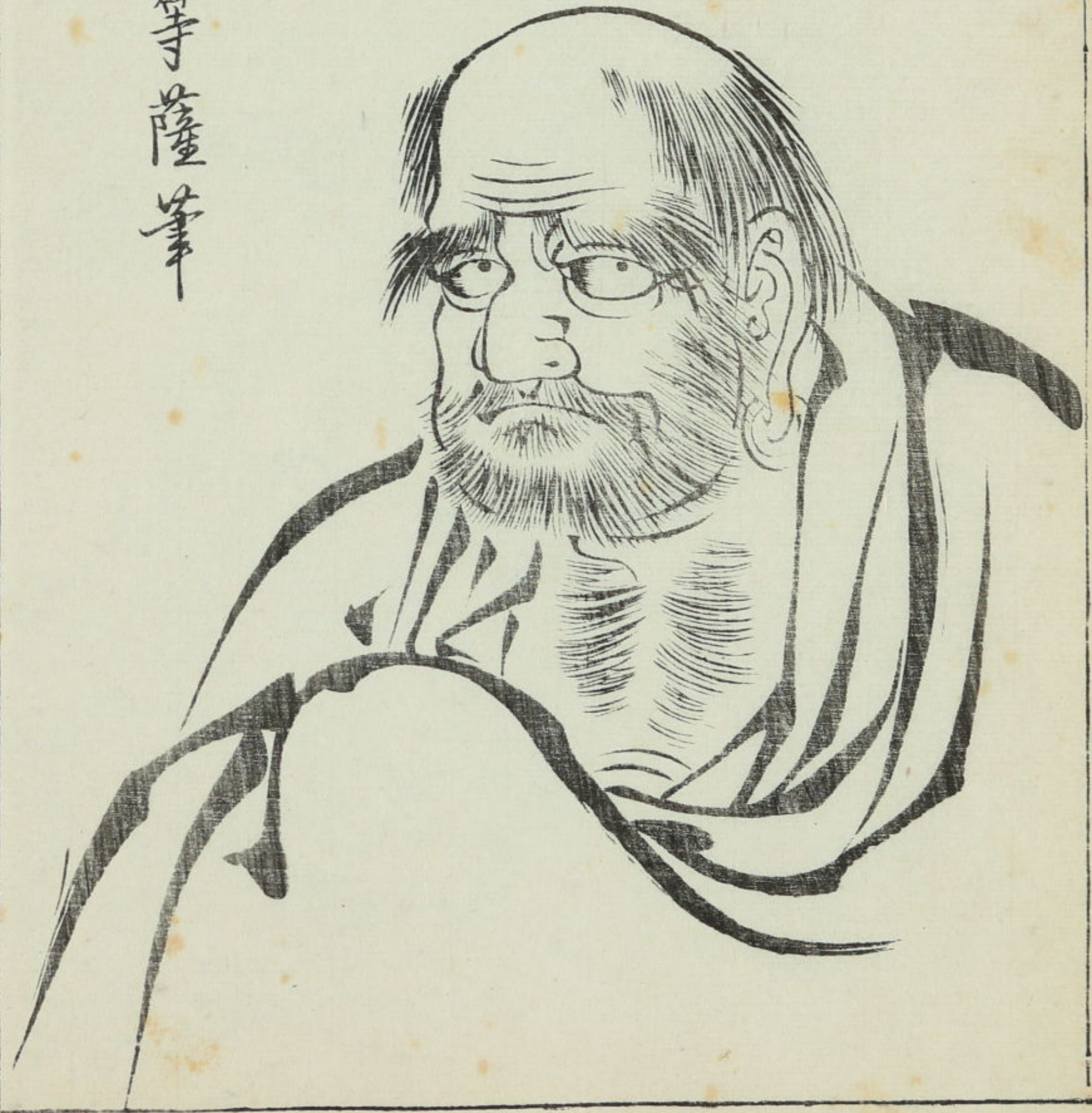


等 隆 筆

鳥 居 山

山 居 鳥

雲 谷 等 隆 筆



雲 谷 等 隆 筆

山 居 鳥





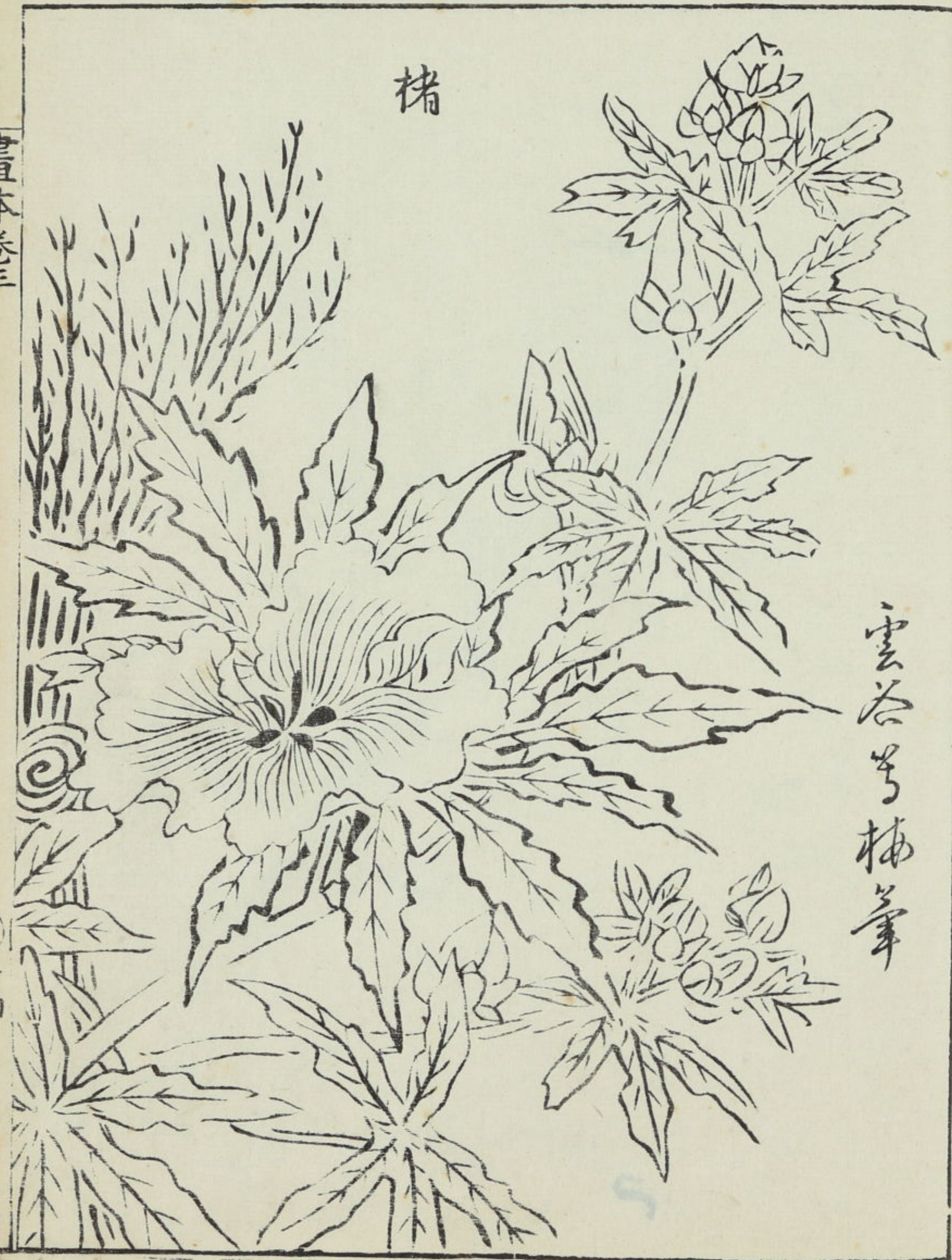
雲谷雪江筆



雲谷雪江筆

ゴマフハ  
スミクマノヤ





楮

雲谷寺梅筆



雲谷寺梅筆





等藝筆

雲谷等藝筆



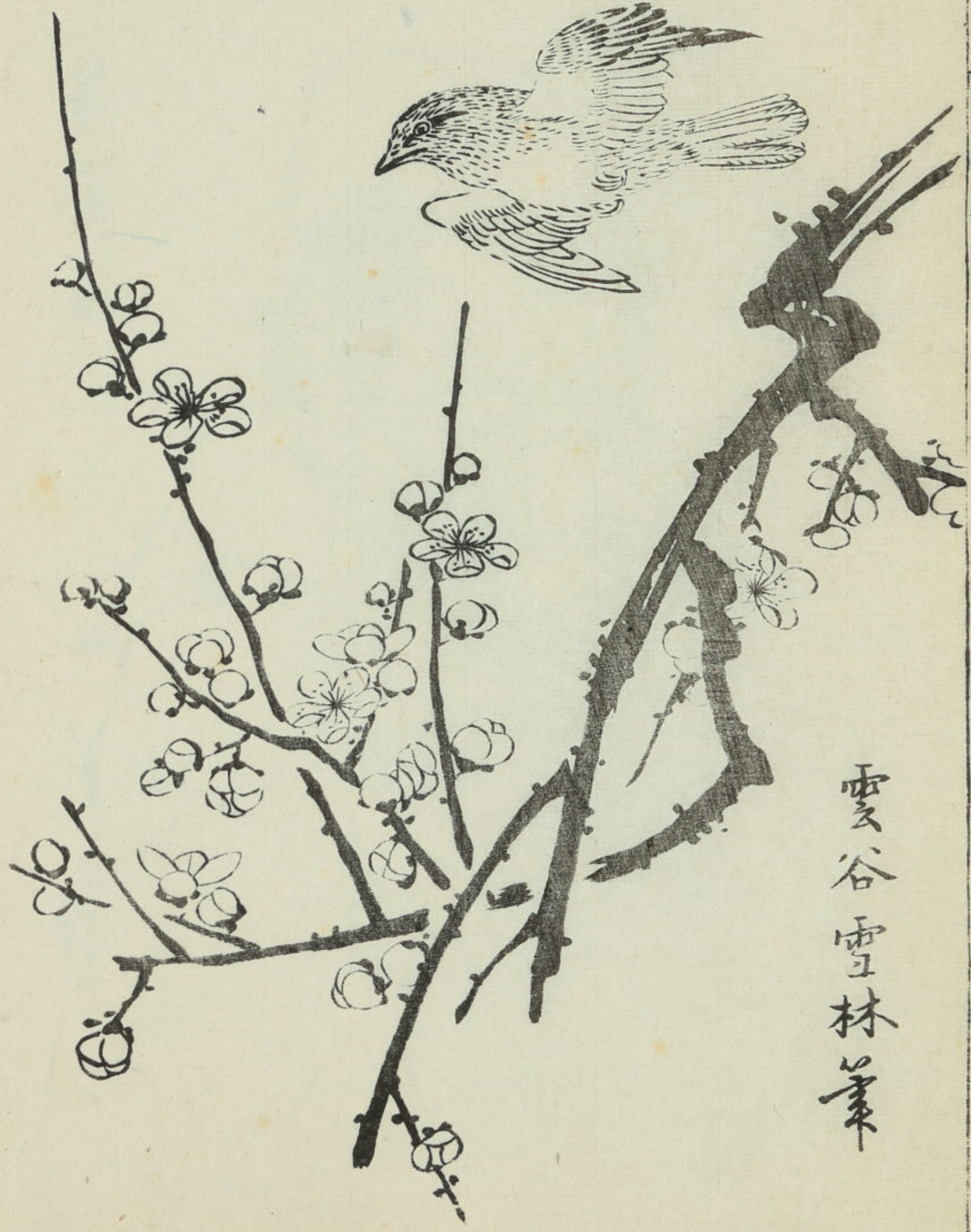




等傳筆

畫本卷三

〇十五



雲谷雪林筆

畫本卷三

〇十五





雲谷等悦筆

鳥のついで

十六

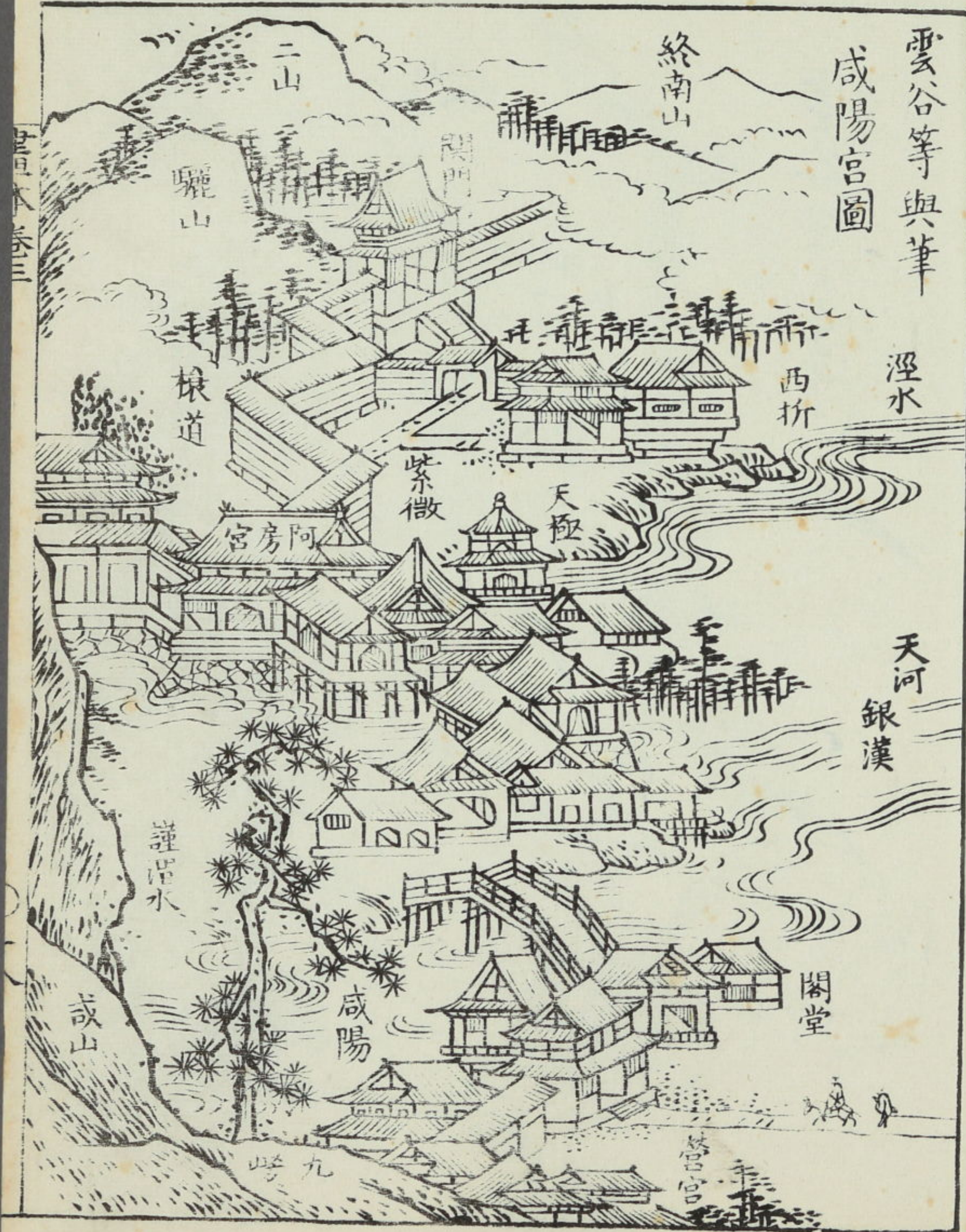


雲谷等悦筆

鳥の本巻三

十六





雲谷等與筆  
咸陽宮圖



雲谷等悅筆

呂々律

口ウくら





雲谷等益筆

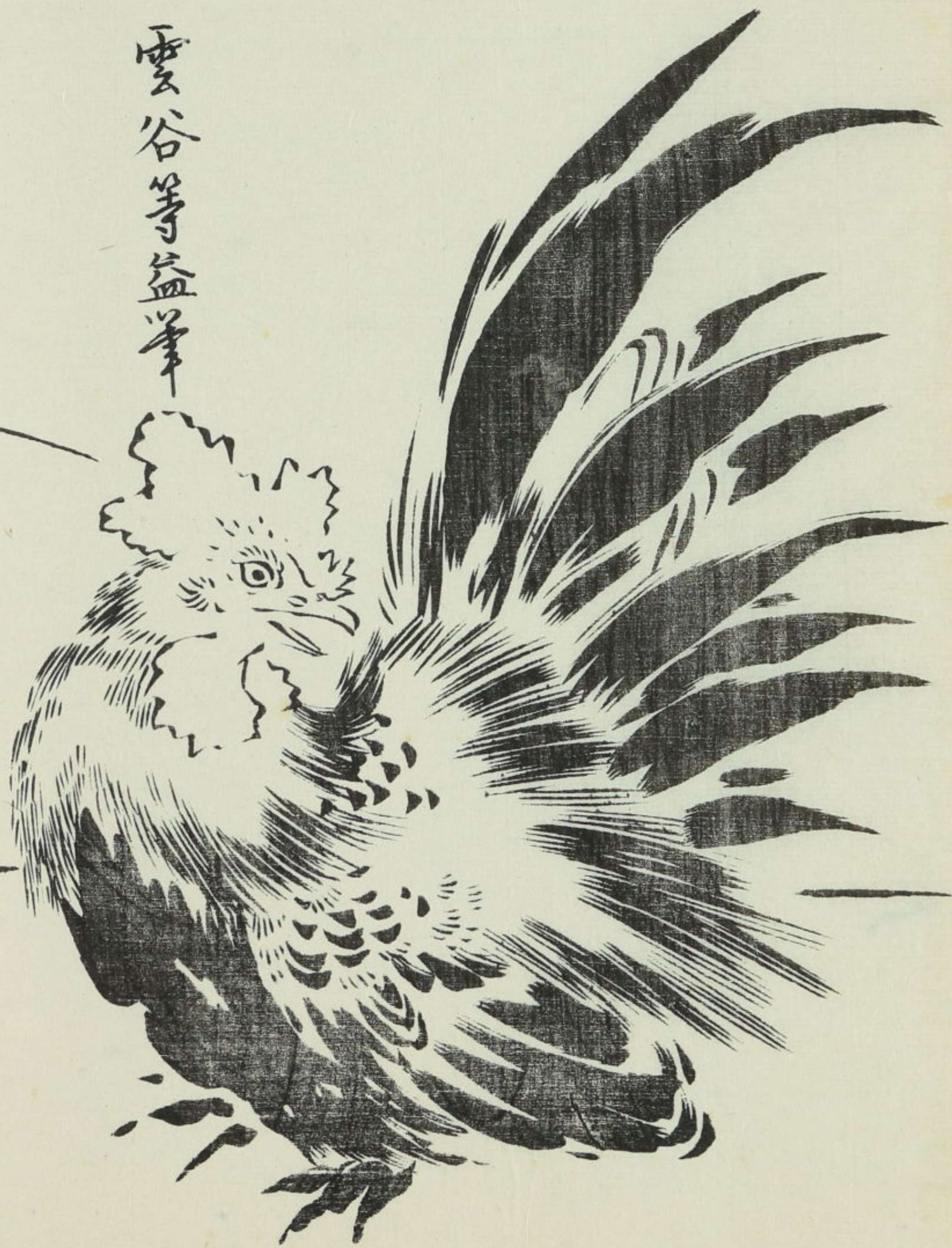
雲谷等白筆







雲谷等益筆





雲谷等尔筆





